

事業成果報告書

(1) 申請者の概要等(複数者による共同申請の場合は、以下表を追加してください)

ふりがな 法人名(屋号)		創業年月	年 月
ふりがな 代表者職氏名		従業員数	名 (うちパート・アルバイト: 名)
業種	大分類名: (日本標準産業分類の大分類を記載)	担当者名	
電話番号 (日中連絡がつく番号)	固定: 携帯:	E-mail	@

(2) 補助対象事業の区分

①実施した事業

該当する事業の□に✓を入れてください(複数選択可)

- ア ITツールの導入及び設備のIoT化
- イ 非対面ビジネスモデルへの転換
- ウ 作業効率の向上を目的とした新システム導入
- エ 作業効率の大幅な向上が見込める非効率機器の更新
- オ その他省力化に資する取組として必要と認めるもの

②申請の種類

該当する申請枠の□に✓を入れてください(一つのみ)

- ア 通常枠
- イ 先端設備等導入枠

(3) 補助事業の概要

次の各項目について、内容を具体的に記載してください。行は必要に応じて拡大して記載してください。

①取組前の企業の現状と課題

〈企業の現状〉

〈課題〉

②補助事業の概要と成果

〈実施内容〉

〈効率化等の成果〉 ※数値等を使用し、具体的に記入してください。

例) ・急速冷凍冷蔵機の導入により仕込み作業の効率化が図られ、6時間かかっていた仕込み作業が4時間で可能となり、作業効率が50%アップした。(6時間÷4時間×100%=150%)

・非対面型受注システムの導入により省力化が図られ、人手不足が解消した。5人で従事していた業務が3人で対応可能となり、生産性が66%アップした。(5人÷3人×100%=166%)